

2025 年度 第 7 回運営実行委員会 議事録

- 日時 令和 7 年 10 月 30 日（木）15:00～16:00
- 場所 オンライン
- 議題
1. 前回議事録確認＜資料 1＞
 2. 審議事項
 - 後援依頼「第 22 回デジタル・フォレンジック・コミュニティ 2025 in Tokyo」
＜資料 2-1、2-2、2-3、2-4＞
 - ADEC 名刺作成＜資料 3＞
 - ADEC 新ホームページ制作進捗
 - 2025 年度予算に伴う運営方針について＜資料 4＞
 3. 報告事項
 - 総務省ガイドライン関連＜資料 5-1、5-2、5-3、5-4＞
 - 文部科学省ガイドライン関連
 - 国家サイバー統括室（NCO）統一基準関連
 - ADEC 消去証跡追跡管理システム仕様策定 WG について
 - 磁気消去実施時の作業完了書（仮）発行について
 - オンサイト消去時の消去証明書発行
 - 行政会員の獲得施策と情報提供サイト作成進捗
 - 広報担当進捗結果報告
 4. 各種委員会活動報告
 - 1) 幹事会
第 3 回
日時：9 月 12 日（金）13:00～14:00、オンライン
 - 審議事項
 - ・幹事企業追加について
 - ・会則変更について（副会長職の設置について、一部会則変更について）
 - ・2025 年度予算について
 - ・監査報告について
 - ・総会開催及び議案書について
 - 報告事項
 - ・新システム開発進捗報告
 - ・CSP 認証基準委員会報告
 - ・GIGA スクール端末の取り扱いに対するソリューション提供
 - ・ホームページ改定進捗共有
 - ・地方自治体案件アプローチ状況
 - ・戦略委員会より進捗報告
 - ・入会候補企業の状況確認進捗
 - ・データ適正消去実行証明書受発注／発行状況
 - 2) 消去技術認証基準委員会
第 7 回委員会
日時：10 月 29 日（水）16:00～18:00、オンライン
 - 認証案件進捗報告
 - 検討事項
 - ・NIST-SP800-88rev2 勉強会
 - ・GIGA スクール端末に関する対応
 - ・消去技術認証の運用体制に関する継続審議
 - ・検証用媒体の選定基準ガイドライン素案の確認
 - ・消去技術に関する新技術の最新動向確認
 - ・その他活動提案／報告
 - 3) 消去プロセス認証基準委員会
第 6 回委員会
日時：10 月 2 日（木）16:00～18:00、オンライン
 - 認証最終承認報告（8 件）

- 報告事項
 - ・NTT ファイナンスアセットサービス(株)の ISO 認証に関する評価について
- 検討事項
 - ・消去プロセス認証事業者用 PR コンテンツ作成
 - ・消去プロセス認証取得事業者によるパートナー会（事業者間の情報共有イベント）の企画検討（11/28 開催）
 - ・審査チェックリストのブラッシュアップに伴う説明資料更改
- スケジュール、その他
- 4) クラウドサービス・プロバイダ認証基準委員会活動報告
第 9 回／第 10 回
日時：10 月 10 日（金）16:00～18:00、オンライン
日時：9 月 22 日（月）15:00～17:00、オンライン
 - ・国際規格関連状況の共有及び対応方針検討
 - ・HSM 操作体験会
 - ・今後のセミナー対応他
- 5) 認証判定委員会
第 2 回
日時：和 7 年 9 月 17 日（水）15:00～17:00、オンライン
- 委員長挨拶／前回議事録案確認
- 消去プロセス認証概要説明
- 認証判定
 - <消去プロセス認証 1：ADEC-BP2025-001（新規）>
リネットジャパンリサイクル(株) スマイルファクトリー名古屋
 - <消去プロセス認証 2：ADEC-P2025-002（新規）>
横河レンタ・リース(株) 橋本第 2 テック
 - <消去プロセス認証 3：ADEC-P2025-003（新規）>
(株)万年 工場管理部
 - <消去プロセス認証 4：ADEC-P2025-004（新規）>
(株)HAKU ソフト消去部門セキュリティルーム
 - <消去プロセス認証 5：ADEC-P2019-002-4（継続）>
(株)イオシス★★★★ イオシスリファビッシュセンター
 - <消去プロセス認証 6：ADEC-P2018-001-5（継続）>
(株)ソフマップ★★★★ ITAD センター
 - <消去プロセス認証 7：ADEC-P2022-002-3（継続）>
NTT ファイナンスアセットサービス(株)★★★★湘南テクニカルサポートセンター
 - <消去プロセス認証 8：ADEC-P2020-002-4（更新）>
(株)ムーバブルトレードネットワークス★★★★湘南テクニカルサポートセンター
- 消去技術認証の検証定義について
GIGA スクール端末対応の検証定義について進捗共有（iOS、Chrome、Android）
- 令和 7 年度開催スケジュールについて
- 5. ADEC 運営状況
 - ・会員の入会／認証取得状況報告
 - ・予算執行状況報告（入金・支出状況）
- 6. データ適正消去実行証明書発行関連事業（SAJ）
 - ・データ適正消去実行証明書受注状況報告
- 7. 次回以降の委員会開催スケジュール、その他<資料 6>

■出席者（順不同）

委員長：税所 達郎氏（さくらインターネット㈱）
委員：伊藤 修司氏（㈱アセットアソシエイツ）
：吉川 大亮氏（キヤノン IT ソリューションズ㈱）
：青木 勇 氏（㈱ピーエスシー）[消去プロセス認証基準委員会委員長]
：成田 昌智氏（㈱パステムセゾン）
オブザーバ：大泉 愛佳氏（㈱ウルトラエックス）広報担当
：生田 篤識氏（DELE㈱）

■欠席者（順不同）

副委員長：長谷 真彦氏（㈱ソフマップ）
：服部 達也氏（㈱ウルトラエックス）
委員：西本 侑佑氏（アドバンスデザイン㈱）
：瀧 伸一氏（アドバンスデザイン㈱）[消去技術認証基準委員会委員長]
：生方 淳一氏（（一財）日本安全保障・危機管理学会）
：大泰司 章氏（（一財）日本情報経済社会推進協会）
アドバイザー：赤峰 旭 氏（㈱エコミン）
オブザーバ：福島 孝之氏（㈱ピーエスシー）
：高倉 万記子氏
：本田 正 氏（A1 データ㈱）

■事務局：原洋一、林竜也、鈴木啓紹

1. 前回議事録確認

資料1に基づき説明を行い、事前配布して確認を依頼したが特に意見がなかった点をまえ、議事録を承認とした。

2. 審議事項

○後援依頼「第22回デジタル・フォレンジック・コミュニティ 2025 in Tokyo」

<資料2-1、2-2、2-3、2-4>

- ・特別会員の特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会よりイベントの後援依頼がございましたのでご審議ください。
- ・イベント概要
 - 日 時：2025年12月8日（月）、12月9日（火）
 - 会 場：品川ザ・グランドホール
 - 参加費：IDF 会員 10,000 円／一般 20,000 円／学生 5,000 円
 - ※参加無料枠がいただけるかは交渉予定

■承認事項

- ・事務局より本イベントの後援名義に当たり予算は不要であることを説明し、承認がなされた。
- ・参加無料枠の確保については事務局より交渉を行うことを報告。

○ADEC 名刺作成

ADEC の広報活動や外部対応の場面での名刺の活用について以下ご審議ください。

- ・検討事項
 - －名刺デザインの統一（ロゴ・役職・連絡先の表記方法等）：
デザイン案の相談<資料3>
 - －作成対象者の範囲（現在は会長、副会長、幹事企業、委員長、事務局他）
該当者：16名分
 - －印刷費用について（印刷費（広報宣伝費）より充当）
@2,000 円以内 総計 32,000 円（税別）

■承認事項

- ・作成対象者の範囲と該当人数について、委員間で確認がなされた。
- ・印刷費用は広報宣伝費から充当するで、委員間で了承がなされた。
- ・名刺デザインはSAJ ロゴ仕様ルールに基づき検討を行い、図版や文言を整理した上で幹事会にて審議する方針が共有された。

○ADEC 新ホームページ制作進捗

- ・テストサイト運用：9月30日をもって終了
- ・新サイト運用：10月1日に正式公開
<https://adec-cert.jp>
※今後必要に応じて修正を行う方針：CMS 導入でコンテンツ作成/修正等の迅速対応
- ・スケジュール
 - －正式公開（10/1）
 - －開発側より操作講習を受講（10/2）
 - －新サイト公開を周知（10/2）
 - －会員機能の運用方針を整理し周知（11月予定）

■承認事項

- ・新ホームページのテストサイト運用終了と正式公開、並びに一連の運用スケジュールが報告された。
- ・CMS 導入により、コンテンツ作成・修正等を迅速に対応する方針が共有された。
- ・会員機能について、委員会や研究会での情報共有に活用する方針で進めることについて、委員間で承認がなされた。
- ・個人情報の取り扱いについては、利用目的を明確化し ADEC 個人情報保護方針に基づいて整理・運用する方針で進めることで、委員間で承認がなされた。

○2025 年度予算に伴う運営方針について＜資料 4＞

◆会員獲得数（6 社→12 社に変更）

実績：3 社（リネットジャパンリサイクル、横河レンタ・リース、リスタ）

見込：4 社（遼南国際商事、セレスティカ・ジャパン、
アンカーネットワークサービス、SG システム）

●12 社を達成するための戦略検討について（追加 5 社）

- ・勧誘対象：
 - －消去ソフト提供事業者
 - －クラウドベンダー（IaaS/PaaS）
 - －リース会社
 - －スマートフォン消去事業者
- ・勧誘手法：
 - －会員企業からの紹介
 - －入会金（100,000 円（非課税））免除キャンペーン
- ・販促予算：
 - －現状：440,000 円（紹介制度にインセンティブを充当）
 - －予算超過時は幹事会への報告・調整を行う方針

■承認事項

- ・追加 5 社獲得に向け、対象事業者の選定および勧誘手法（紹介制度・入会金免除キャンペーン）を活用する方針で進めることについて、委員間で承認がなされた。
- ・販促予算 440,000 円を紹介制度に充当し、予算超過時は幹事会に相談を行う方針について再度確認がなされた。

◆ETTMS の LG-WAN 接続対応費用に伴う拡販戦略

- ・ETTMS 概要確認
 - －ETTMS の運用費用及び契約数
- ・LG-WAN 接続の背景
 - －LG-WAN 接続に伴う開発費用（予算：3,300,000 円）
- ・検討事項
 - －現在の提供価格（年間 369,000 円）でのニーズ調査
 - －地方自治体・文教系におけるニーズ調査
（LG-WAN 接続の有効性について、現在のユーザ環境を踏まえた再評価）
 - ・仕様策定 WG 内では直接地方自治体・文教系ユーザへ直接ヒアリングが困難。
（地方自治体・文教系ユーザとの直接取引が少ない）
 - ・別途、対応手法を検討中
 - －提供価格／運用コスト低減策の必要性
 - ・仕様策定 WG 内にて、会員企業への無償提供を理想とした費用低減策を検討
 - ・一般世間への普及に至るまでの期間はエンドユーザへの無償提供を行い、運用費用は会員企業への廉価（10 万円以下で会員が利用）での提供で担う方針が望ましい。
 - ・理由：ETTMS を消去事業者で活用する場合、従来の消去作業フローに追加で工数が増加する。消去履歴に対するエンドユーザでの認知が進んでいない。

■承認事項

- ・ETTMS の普及促進に向け、エンドユーザには無償提供期間を設ける、合わせて会員には運用費用として廉価（10 万円以下）で提供する費用低減策を検討する方針について、委員間で承認がなされた。

■意見要旨

- ・地方自治体への直接ヒアリングが困難であることを踏まえ、代替手法による対応について見解が示された。
- ・地方自治体のインターネット接続環境は「α'モデル」が多くなる方向なので、LG-WAN への接続がなくとも ETTMS に登録を行う消去作業履歴情報（機密性が低い）は扱える可能性が高い。ランニングコストを考慮に入れて LG-WAN 接続開発費用について継続検討する。

3. 報告事項

○総務省ガイドライン改定進捗

- ・「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」等の意見募集の結果及び改定版の公表
- ・日時：2025 年 3 月 28 日（水）
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei02_02000355.html
- ・担当官が 7 月に異動となり、新担当者が着任
- ・税所委員長／吉川委員が訪問挨拶（8/5）
 - －担当課が変更：デジタル基盤推進室→サイバーセキュリティ対策室
 - －訪問時に上記方針の状況について確認。記載内容レビューを ADEC で引き受ける旨を申し出た。
 - －クラウド消去は暗号鍵管理についてどういったレベルまで詳述するか思案中

第 19 回検討会（令和 7 年 10 月 1 日開催）

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/chiho_security_r03/02gyosei02_04000235.html

資料 1_電磁的記録媒体を使用しないデータ連携について

資料 2_機器の廃棄・データ消去について

資料 3_地方公共団体におけるサイバーセキュリティに関する支援策及び実効性

確保の検討に係るワーキンググループの運営について（案）

参考資料_電磁的記録媒体(USB メモリ等)の利用に関するアンケート（案）

情報資産廃棄に関する記載を統一基準に合わせる形で変更する方針

■報告事項

- ・10 月 1 日に第 19 回検討会が開催されたことを報告。
- ・情報資産廃棄に関する記載を統一基準に合わせて変更する方針が示されたことが共有された。

○文部科学省訪問

- ・「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」（令和 7 年 3 月）
令和 7 年 3 月 25 日公開
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm

CSP 認証基準委員会よりクラウド消去について情報交換のための打合せ

日時：6 月 12 日（木）10:00～11:00

場所：文部科学省

参加：税所達郎、吉川大亮、事務局

担当官が 7 月より変更

■進捗なし

○国家サイバー統括室（NCO）訪問

- ・令和 7 年度の改定予定有
- クラウド消去に該当する暗号鍵管理に関する記載について、CSP 認証基準委員会より修正案を提案する予定
- ・7 月 1 日改定確認
https://www.nisc.go.jp/policy/group/general/ki_jun.html
→7 月 1 日より、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）から国家サイバー統括室（NCO）へ名称変更
→担当セクションへ確認したところ、名称変更に伴う改定のみ実施したことを確認

■進捗なし

○ADEC 消去証跡追跡管理システム仕様策定 WG について

- ・ADEC 基盤としての運用が承認された消去証跡追跡管理システムの実運用を行うにあたり、詳細な仕様を確定させる。この目的で仕様の確定にはテスト運用にご協力いただいた関係者による WG を設置
- －タスク：消去証跡追跡管理システムの実運用上のルールを確定する
：具体的なビジネスモデル案を作成する

ー参加者 リーダー：パステムセゾン成田氏
メンバ：PSC、ソフマップ、アドバンスデザイン、DELE、ムーバブル TNW、
ウルトラエックス

第 51 回：10 月 27 日（月）16:00～18:00、オンライン開催

- ・ ETTMS の仕様に関する要望内容確認
- ・ 自治体導入状況の概要共有
Gov-Tech 東京への再訪問調整
→クラウド暗号化消去に関して地方自治体の状況と併せて意見交換を行い、
継続的な情報交換を行う方針となった。
→担当変更につき、再訪問は先方より断り有り
- ・ 神奈川県庁への情報提供（暗号化消去）を含めて訪問する。
- ・ 行政会員サイトでの情報公開について
→対応メンバによる別 MTG を実施。現状ペンディング。
- ・ 磁気消去実施時の作業完了書（仮）発行について
→対応メンバによる別 MTG を実施。現状ペンディング。
- ・ LG-WAN-ASP への ETTMS 登録について
→接続するためのシステム構成準備
接続手続きについて確認（さくらインターネット×UX 社）
- ・ ETTMS 認知度向上に向けて
ー文科省ガイドライン説明資料
→教育委員会職員による対応について文科省に確認後、最終版とした
ー暗号化消去に関する説明資料→策定中
- ・ ユーザへの提供モデルについて再検討
地方自治体ユーザを鑑み消去案件単位の金額モデルの追加内容を検討。
→WG 内で限定的にテスト運用を実施
今後、普及施策として運用モデルの抜本的な変更について継続審議を行う。
オンサイト消去時に ETTMS を活用するための手法を検討
- ・ 物理破壊機器の認証及び作業完了書発行
機器認証及び消去プロセスを確認/登録しつつ、作業完了書を発行の方針で
検討開始
- ・ ETTMS の LG-WAN 接続に伴う拡販戦略
地方自治体の現状と ETTMS 価格のニーズについてコスト低減策を含めて確認し、LG-
WAN 接続時の利便性を再度調査する。
・ 検討事項は以下の 2 点
 - 1) 地方自治体／文教関連でのニーズ再調査
→特に地方自治体に対して LG-WAN 接続で使いやすくなるのかを再調査
→調査項目について検討
 - 2) 提供価格／運用コスト低減策の策定
・ 一般世間への履歴情報の必要性が普及に至るまでの期間はエンドユーザへ
の無償提供を行い、運用費用は会員企業への廉価（10 万円以下で会員が
利用）での提供が理想的と考える。
＜次回＞第 52 回：11 月 20 日（木）16:00～18:00、オンライン開催

■報告事項

- ・ ETTMS のニーズ再調査に関する意見交換が行われ、地方自治体での消去作業履歴情報に
対する理解度や運用負担に関して課題が共有された。
- ・ 現状では無償または低価格での ETTMS 提供が望ましく、普及フェーズの現在は会員企業
への導入促進を図る方針が WG 内で共有された。

○磁気消去機器認証策定について（2024 年 11 月以降ペンディング中）

◆条件の前提

- ・ 磁気消去の作業時には 1) 作業完了書、2) 磁気消去を実施したこと認めた完了
が想定される。
- ・ 使用条件：ETTMS 上でのドキュメント対応、（オンサイトであればオンサイト消去
チェックリスト使用時のみ）
- ・ 具体化担当：アドバンスデザイン
- ・ 具体化にあたりフロー要件／認証に向けた基礎技術の要件確認を行う。

→HDD 開発ベンダのホワイトペーパー入手を相談中
大学と共同で新方式 HDD に対する試験等を検討
新測定器に関する情報共有（日本カンタム）

■進捗なし

○行政会員の獲得施策と情報提供サイト（2024 年 11 月以降ペンディング中）

メンバ：アドバイザー高倉氏、大泉氏（広報担当）

◆サイト公開

https://adec-cert.gr.jp/memberships/?redirect_to=https%3A%2F%2Fadec-cert.gr.jp%2F

■進捗なし

○広報担当進捗結果報告

・地方公共団体に向けたアプローチについて

■進捗なし

4. 各種委員会活動報告

以下が担当者及び事務局より報告がなされた。

1) 幹事会

第 3 回

日時：9 月 12 日（金）13:00～14:00、オンライン

○審議事項

- ・幹事企業追加について（アセットアソシエイツ、フォーラムエイト）
- ・会則変更について（副会長職の設置について、一部会則変更について）
- ・2025 年度予算について：承認
- ・監査報告について：承認
- ・総会開催及び議案書について：承認

○報告事項

- ・新システム開発進捗報告
- ・CSP 認証基準委員会報告
- ・GIGA スクール端末の取り扱いに対するソリューション提供：進捗共有
- ・ホームページ改定進捗共有
- ・地方自治体案件アプローチ状況
- ・戦略委員会より進捗報告
- ・入会候補企業の状況確認進捗
- ・データ適正消去実行証明書受発注／発行状況

■前回と同様

2) 消去技術認証基準委員会

第 7 回委員会

日時：10 月 29 日（水）16:00～18:00、オンライン

○認証案件進捗報告

→新規案件の仕様確認作業を実施

○検討事項

- ・NIST-SP800-88rev2 勉強会
→次回へ延期。下垣内氏より物理破壊の定義に関する提案有
- ・GIGA スクール端末に関する対応
- ・消去技術認証の運用体制に関する継続審議
- ・検証用媒体の選定基準ガイドライン素案の確認
- ・消去技術に関する新技術の最新動向確認
- ・その他活動提案／報告

■報告事項

- ・奄美市で実証実験として約 5,000 台の GIGA 端末（iPad）をソフマップが消去、2 月以降に ADEC から証明書発行を想定。
- ・iOS/iPad 端末の非破壊消去検証について審議された結果、検体は iPhone/iPad 各 1 台ずつ用意する方針が示された。
- ・Chromebook については Google 社と ADEC で技術文書の参照を相互に要望しており、両者の立ち位置について整理が必要である認識を確認された。委員長と Google 社の面談を行う方針であることが共有された。
- ・次回開催までに認証申請書類（iOS/iPhone 対応）のたたき台作成を目指すことで合意

がなされた。

3) 消去プロセス認証基準委員会

第6回委員会

日時：10月2日（木）16:00～18:00、オンライン

○認証最終承認報告

→8 案件（新規 4 件、継続 3 件、更新 1 件）

○報告事項

・NTT ファイナンスアセットサービス(株)の ISO 認証に関する評価について
→委託元として運用拠点をチェックリストで確認しているかどうかについて
審査での回答をもって申請を受理する

○検討事項

- ・消去プロセス認証事業者用 PR コンテンツ作成
- ・消去プロセス認証取得事業者によるパートナー会（事業者間の情報共有イベント）
の企画検討（11/28 開催）
URL： <https://adec-cert.jp/news/2025/133871/>
→GIGA 端末のテーマを参加者と共有
物理破壊プロセスに於ける各社の違いを審査員より解説
- ・審査チェックリストのブラッシュアップに伴う説明資料更改
→新事前チェックリスト補足資料を策定→ホームページへ公開（8 月）
URL： <https://adec-cert.jp/certificationsystem/deleteprocess/>（新 HP）
→新ホームページ切替え後旧チェックリストの削除
→事前資料の活用により審査効率が向上したと報告された
→適合レート★★★は事業者の意識の高さの反映のため厳格な評価基準は不要と判断された

○スケジュール、その他

■報告事項

- ・委託元が ISMS 等の認証を取得していないにもかかわらず点数が付くのは不適切との指摘があり、満場一致で減点すべきという判定委員会での判断について共有がなされた。

■意見要旨

- ・委託元が認証申請を行う場合は、自らの運用内容を説明できることを条件とし、実作業を行っていない場合は、申請の受理可否を委員会で検討してはどうか。
- ・特殊な申請ケースは、申請前に委員会へ持ち込み、内容を確認した上で対応してはどうか。
- ・チェックリストの新運用で現状★3 が多い部分について、改善の必要性は低いという認識が示された。

4) クラウドサービス・プロバイダ認証基準委員会活動報告

第11回／第12回

日時：10月10日（金）16:00～18:00、オンライン

日時：10月22日（月）15:00～17:00、オンライン

委員長：税所達朗氏（さくらインターネット(株)）

委員：吉川大亮氏（キヤノン IT ソリューションズ(株)）
岡部淳一氏（ISACA 東京支部 副会長 兼 理事）
村上輝暁氏（P マーク/ISMS 審査員）
坂本哲也氏（(株)ウルトラエックス）
大泰司章氏（JIPDEC 客員研究員）
神沢剛史氏（ネットアップ合同会社）
井谷 寛氏（ネットアップ合同会社）

認証制度 HP： <https://adec-cert.jp/company/cecc.html>

○国際規格関連状況の共有及び対応方針検討

：IEEE SIS-WG より以下の分冊に対するコンテンツ策定

・策定文書番号：IEEE2883.2

・文書名：

Recommended Practice for Virtualized and Cloud Storage Sanitization

→IEEE2883.2 の有効期限：2027/12

→チェックリストの提案状況確認

チェックリストの Appendix 取り込みはなされたが、Draft 版レベルでの
処理なので Editor へのアプローチなど慎重に進めている。

■報告事項

- IEEE2883.2 の有効期限確認の後、リリース予定は SISWG 本会議で再確認を行う。
- 10/24（土）開催 SISWG 以降に 2883.2Draft 版を委員共有して確認を行う。
- ISO/IEC27017NEXT の進捗状況を確認し、委員に共有を行う。SC27WG に対して必要に応じて概要化したチェックリストなどの提案を検討する。
- SC27WG に関する活動については満塩先生や上原先生からの情報共有を依頼する。

○HSM 操作体験会

日時：10月31日（金）15:00-17:00

場所：タレス DIS 社 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー8F

■アジェンダ案

- 1, 物理 CM また内蔵されている HSM を準備してハードウェア周りの特性を説明
- 2, 物理 CM での 2 要素認証操作デモ
- 3, 仮想 CM+CCKM で BYOK デモ
- 4, 仮想 CM+CCKM で HYOK 説明
- 5, 仮想 CM+CTE で BYOE デモ

■報告事項

- 待ち合わせ場所の確定と各メンバの関係者であればオンライン参加であることが確認された。
- 当日の様子は Teams 上で録画が行われる方針となった。

○今後のセミナー対応

- CSP を対象としてセミナー企画を実施予定
- 以下は企画構成案
 - a) クラウド運用失敗事例（暗号化によるデータ保全／データ消去実施）
→地方公共団体を中心にセキュリティインシデントを調査中
 - a-1) 暗号化消去とは
 - b) 暗号化消去の世界技術標準動向（IEEE 関連）
 - c) クラウド消去証明書／クラウドシステム認証（制度概要（期間と工数）／審査概要）の説明
 - d) 官公庁ガイドラインの解説（「暗号化消去」の記載内容説明
- スケジュール（2 回実施で予定）

12月18日（木）16:00-18:00、SAJ 会議室、ウェビナー/ハイブリッド

3月18日（水）16:00-18:00、SAJ 会議室、ウェビナー/ハイブリッド検討

■報告事項

- セミナーのメインタイトルについて検討を行い確定させた。
- 対象者をクラウド運用事業者／クラウド調達検討者とし、オンラインのみでの認証及びクラウドデータ消去の周知を目的下セミナーとする。
- セミナー開催時間を講演 60 分、質疑応答 10 分の 70 分構成に修正を行う。
- アサヒ HD のランサムウェアによるシステムダウン事例については詳細情報を収集する。

○新規案件対策

- Google 社へのアプローチ状況

IEEE への提案が通った後なら米国本国に対して有効な説明ができると思っ
ている。→認証取得の説得が可能になると考えられる。

■報告事項

- 本件は Google 担当者への情報伝達から始める方針とした。

・地方自治体向け SI 企業への認証紹介

-J-LIS (10/8、10/9) フェアでの誘致実施の結果概要について報告

-紹介用の説明資料に基づく説明により、内田洋行社が興味も持った。

引き続き、日本電子計算や RKKCS などにも誘致を行う方針とした。

(課題点：SIer 側には暗号化消去機能実装が、ベンダ側の一方的な負担作業と捉えている認識がある)

-また、J-LIS や KIIS 等の団体に対して啓蒙を行うことを方針として組み込む。

-新規案件の対象となる業界について検討を行い、金融/証券/保険やモバイル決済系などの情報そのものに価値のある業界が対象業界として適当とした。

4) 認証判定委員会

・第 2 回

日時：9 月 17 日 (水) 15:00～17:30

場所：オンライン

○委員長挨拶／前回議事録案確認

○消去プロセス認証概要説明

○認証判定

<消去プロセス認証 1：ADEC-BP2025-001 (新規) >

リネットジャパンリサイクル(株) スマイルファクトリー名古屋

<消去プロセス認証 2：ADEC-P2025-002 (新規) >

横河レンタ・リース(株) 橋本第 2 テック

<消去プロセス認証 3：ADEC-P2025-003 (新規) >

(株)万年 工場管理部

<消去プロセス認証 4：ADEC-P2025-004 (新規) >

(株)HAKU ソフト消去部門セキュリティルーム

<消去プロセス認証 5：ADEC-P2019-002-4 (継続) >

(株)イオシス★★★★ イオシスリファビッシュセンター

<消去プロセス認証 6：ADEC-P2018-001-5 (継続) >

(株)ソフマップ★★★★ ITAD センター

<消去プロセス認証 7：ADEC-P2022-002-3 (継続) >

NTT ファイナンスアセットサービス(株)★★★★湘南テクニカルサポートセンター

<消去プロセス認証 8：ADEC-P2020-002-4 (更新) >

(株)ムーバブルトレードネットワークス★★★★湘南テクニカルサポートセンター

○消去技術認証の検証定義について

GIGA スクール端末対応の検証定義について進捗共有 (iOS、Chrome、Android)

○令和 7 年度開催スケジュールについて

・次回委員会開催日程

・ADEC 第 8 回定時総会スケジュール

・HSM 操作体験会

■前回と同様

5. ADEC 運営状況

以下が事務局より報告がなされた。

○会員入会／認証取得状況報告 (10 月 28 日現在)

・正会員：39 社 (幹事企業 6 社)

入会承認：0 社

・特別会員：5 社

・協賛会員：1 社

・協力団体：2 社

※新規入会承認：遼南国際商事 (幹事会検討中)

※入会問い合わせ有：セレスティカ・ジャパン、

SG システム、アンカーネットワークサービス、

※退会：

○認証取得状況 (10 月 28 日現在)

・消去技術認証：25 件 (ワンビ (5)、ウルトラエックス (6)、アドバンスデザイン (2)、

ムーバブルトレードネットワークス (1)、フォーラムエイト (1)、
NEC パーソナルコンピュータ (1)、パナソニックコネクト (4)、ネ
ットアップ (3)、日本 HP (1)、アイ・オー・データ機器 (1)

- ・ 消去プロセス認証：18 件 (ソフマップ、ピーエスシー、ゲットイット、イオシス、
パステムセゾン (2)、ムーバブルトレードネットワークス、TCE、
DELE、NTT ファイナンスアセットサービス、
日本ビジネスデベロップメント、PFU クオリティサービス
NTT レンタル・エンジニアリング、SB フレームワークス、
リネットジャパンリサイクル、横河レンタ・リース、萬年、
HAKU

○今後の予定

- ・ 消去技術認証取得予定
新規申請：アドバンスデザイン (SSD/NVMe、Purge)
- ・ 消去プロセス認証取得予定
新規申請：アセットアソシエイツ
継続/更新申請：

○予算状況報告(入金・支出状況) (2025 年度)

※金額は消費税込(会費・入会金を除く)			2025年度予算 (消費税込)	
区分	項 目	単価(税込)	数量	金額
収 入	入会金	100,000	12	1,200,000
	正会員(既存)	250,000	36	9,000,000
	正会員(新規)	250,000	12	1,750,000
	協賛会員(既存)	500,000	1	500,000
	協賛会員(新規)	500,000	0	0
	限定特別会員	0		
	入会金・会費計			12,450,000
	消去技術認証(新規)	660,000	4	2,640,000
	消去技術認証(更新)	55,000	20	1,100,000
	消去技術認証(OEM新規)	55,000	0	0
	消去技術認証(OEM更新)	55,000	3	165,000
	消去プロセス認証(新規)	330,000	3	990,000
	消去プロセス認証(更新:2回目)	330,000	7	2,310,000
	消去プロセス認証(継続:1回目)	220,000	7	1,540,000
	消去プロセス認証(ソフトなし・新規)	440,000	0	0
	CE-C認証(新規)	1,980,000	2	3,960,000
	CE-C認証(継続:1回目)	550,000	0	0
	CE-C認証(更新:2回目)	1,200,000	0	0
	認証料計			12,705,000
	ETTMS利用料金(会員登録)初期費用	110,000	1	110,000
	ETTMS利用料金(会員登録)サービス費用	396,000	5	1,980,000
	ETTMS利用料金(エンドユーザ)初期登録	110,000	3	330,000
	ETTMS利用料金(エンドユーザ)1年契約	396,000	1	396,000
	ETTMS利用料金(エンドユーザ)半年契約	198,000	2	396,000
	利用料計		12	3,212,000
収 入 計				28,367,000
支 出	消去技術認証実務委託費	550,000	4	2,200,000
	消去プロセス認証実務委託費(新規)	88,000	4	352,000
	消去プロセス認証実務委託費(更新:再審査)	88,000	7	616,000
	消去プロセス認証実務委託費(継続)	66,000	7	462,000
	消去プロセス認証実務委託費(ソフトなし・新規)	110,000	0	0
	CE-C認証実務委託費(新規)	990,000	2	1,980,000
	CE-C認証実務委託費(継続:1回目)	330,000	0	0
	CE-C認証実務委託費(更新:2回目再審査)	660,000	0	0
	ETTMS(追跡サービス)改修:LG-WAN接続維持	3,300,000	1	3,300,000
	ETTMS(追跡サービス)運用保守費用(月220000)	220,000	12	2,640,000
	委託費計			11,550,000
	諸謝金(判定委員会)委員長3万1名、委員2万円2名	77,000	4	308,000
	諸謝金(消去技術、消去プロセス委員会の外部有識者)	55,000		750,000
	技術顧問手当		0	0
	インセンティブ(会員勧誘)	110,000	4	440,000
	インセンティブ(アドバイザー手当)	22,000	3	66,000
	諸謝金計			1,564,000
	印刷費(広告宣伝費)			2,520,000
	プロモーション費(イベント費用)			3,000,000
	販管費(地方公共団体ETTMS導入営業対応等)			660,000
	新聞図書費(調査費含む)			1,000,000
	会議費(総会懇親会含む)			410,000
	会場費			355,000
	事務局委託費(SAJ)			8,510,100
	租税公課			300,000
	予備費(雑費/他活動)			450,000
	管理費(官公庁公文書対応等)			0
	小 計			17,205,100
支 出 計				30,319,100
当期収支差額				-1,952,100

6. データ適正消去実行証明書発行関連事業

以下が事務局より報告がなされた。

○2025 年度データ適正消去実行証明書受注状況報告（SAJ）＜10 月 28 日＞

- ・ライセンス発行枚数
 - 目標：20,500 枚：4,900,000 円
 - 実績：2,001 枚：2,090,990 円

■新システム移行状況

◆移行について

- ・8 月以降に新システムとの連携にむけた消去技術認証事業者による開発進捗（現システムと新システムの並行稼働期間）
- ・9 月より新システムへの切り替えを基本としているが切り替え遅れの対応を含めて 9 月 22 日迄は並行稼働を延期
- ・10 月 1 日より新システムに完全切り替え完了

◆インフラについて

- ・旧システムの証明書データ移管を実施
- ・海外 IP からのアクセス停止による問題はホワイトリスト対応を実施

7. 次回委員会開催日程確認

以下が事務局より報告がなされた。

○運営実行委員会／幹事会／判定委員会開催日程

- ・全体スケジュール確認＜資料 6＞

○その他

- ・消去技術認証基準委員会

第 8 回

-日時：11 月 18 日（火）16:00～18:00

-場所：オンライン

- ・消去プロセス認証基準委員会

第 7 回

-日時：12 月 16 日（火）15:00～17:00

-場所：オンライン

以上